

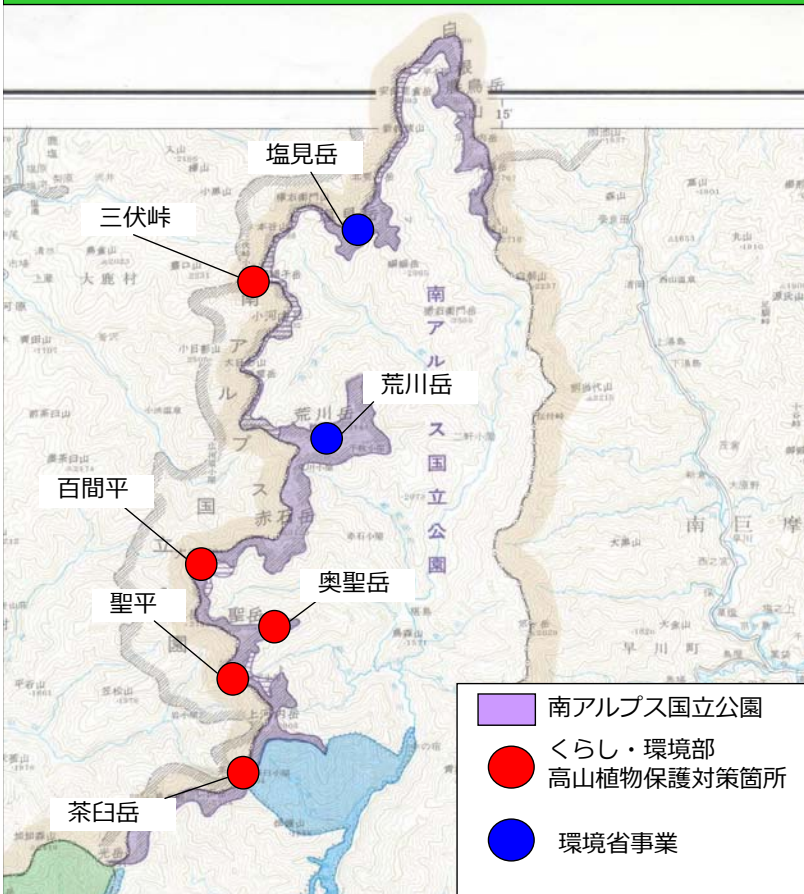
# ボランティアとの協働による 南アルプス高山植物保護対策



(塩見岳)

くらし・環境部環境局 自然保護課

## 南アルプス国立公園



- 昭和39年に国立公園指定
- 氷河期の生き残りである遺存種の世界的南限



上：ライチョウ  
左：タカネマンテマ

# 南アルプスの現状

ニホンジカによる高山植物への食害  
聖平（標高2,260m）ニッコウキスゲ群落の消失  
塩見岳（標高3,052m）裸地化、土砂流出

聖平



昭和61年 夏



平成30年 夏



塩見岳



昭和54年 夏



平成22年 夏

# ボランティア団体の発足

平成14年に南アルプス高山植物保護ボランティアネットワークを発足

## ボランティアネットワーク

目的：高山植物保護を主体的に実施する  
山岳団体等の組織化

- ・ NPO法人日本高山植物保護協会静岡支部
  - ・ 静岡県山岳連盟
  - ・ 静岡市山岳連盟
  - ・ 井川山岳会
  - ・ 株式会社東海フォレスト  
(現特種東海フォレスト)
  - ・ 静岡県高等学校体育連盟登山専門部
  - ・ 静岡植物研究会
  - ・ 静岡勤労者山岳連盟
  - ・ 南アルプスの会
- 以上9団体

※静岡県はオブザーバー



# 防鹿柵等の整備

## 2千m以上の高地において全国最大級

防鹿柵等の整備による高山植物の保護  
静岡県、ボランティアネットワーク、一般ボランティア等と協働で設置

### 1 資材の運搬



### 3 植生マットの敷設



### 2 防鹿柵の設置



#### <防鹿柵の設置場所・面積>

場所	設置面積	事業開始年度
聖平 (薊畑含)	1,576㎡	H14
三伏峠	6,761㎡	H18
茶臼岳	1,875㎡	H20
合計	10,212㎡	

# 防鹿柵等の実施成果

- ・ 防鹿柵内ではニッコウキスゲが0株から432株まで復活
- ・ 植生マットにより、先駆植物のオンタデ等が生育できる環境を創造

### 1 防鹿柵 (聖平)



### 2 植生マット (塩見岳)



←外側  
単一の普通種

内側→  
多様な高山植物

聖平防鹿柵内におけるニッコウキスゲ開花株数

年度	H10	H22	H28	H30
株数	0	11	128	432

# ボランティアの参加状況

令和元年は延べ参加人数196人  
県、ネットワークの他に高校生や環境省からも参加

＜令和元年度植生復元活動＞

活動日	場所	参加人数 (延べ人数)
6/15	三伏峠	7
8/10~11	茶臼岳	10
8/24~26	聖平	54
9/14~16	三伏峠 塩見岳	115 (環境省2人、 韮山11人、 富士東5人、 沼津工業4人)
10/5~6	茶臼岳	10
合計		196



防鹿柵の撤去をする難波副知事 (R1,9)



難波副知事と高校生ボランティア (R1,9)

## 氷河期からの貴重な資産を後世に！

・ ボランティアとの協働による保全活動の充実

・ 南アルプスの豊かな自然環境の魅力を発信